

FMC/FTDのレディネスチェックまたはアップグレードの監視と再開

内容

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[1. レディネスチェックの状況のモニタリング](#)

[2. アップグレードステータスの監視](#)

[3. 障害時のレディネスチェックの再開](#)

[4. 障害時のアップグレードの再開](#)

はじめに

このドキュメントでは、FMC/FTDのレディネスチェックまたはアップグレードを監視および再開する方法について説明します。

前提条件

要件

次の製品に関する知識があることが推奨されます。

- Firepower Management Center (FMC)
- Firepower Threat Defense (FTD)
- Linux

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

1. レディネスチェックの状況のモニタリング

FMCからFMCまたは管理対象デバイスに対して準備状況チェックが開始されると、FMC GUIを使用する以外のCLIを介してチェックのステータスを検証できます。また、準備状況の確認が失敗した場合は、エキスパートモードでCLIを使用して、失敗の理由を理解するための関連ログを取得できます。

エキスパートモードに移行し、rootアカウントにエスカレーションした後、次のコマンドを使用できます。

専門家

sudo su - (パスワードの入力)

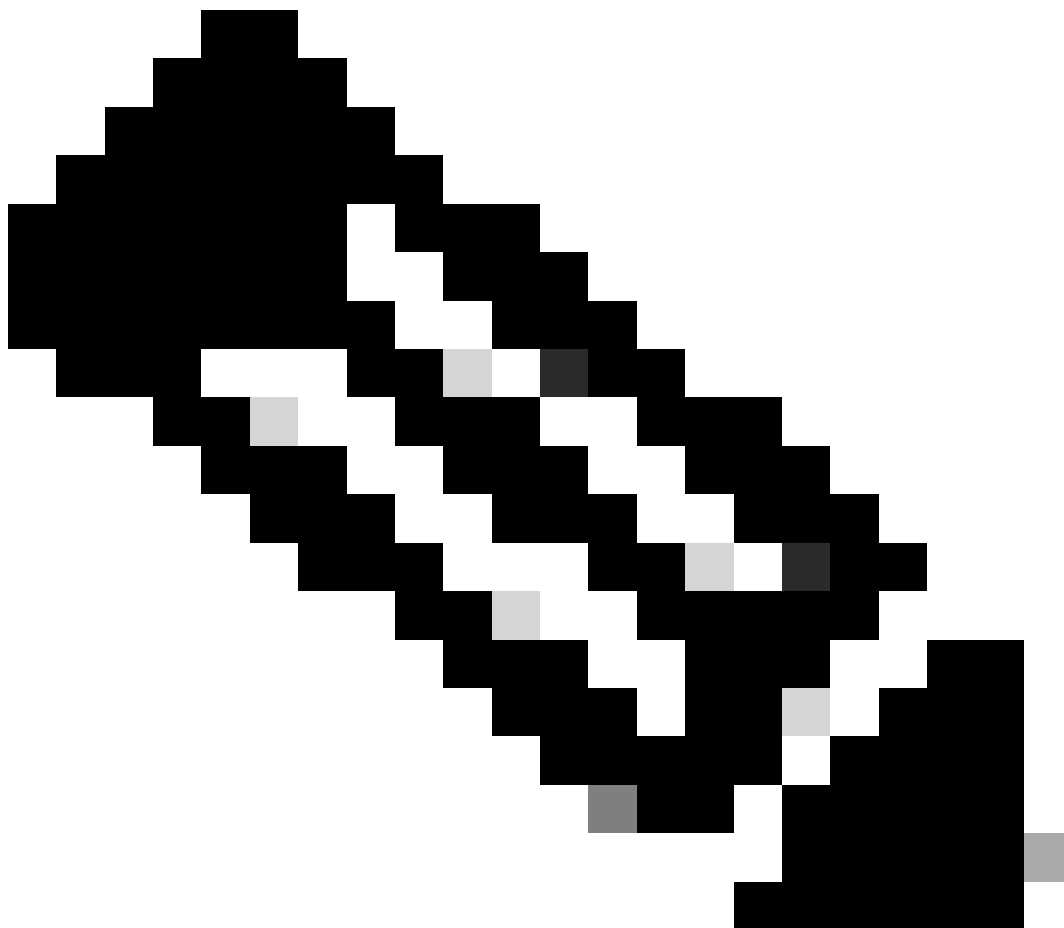
CD /var/log/sf

cd <upgrade_file_name> (登録ユーザ専用)

cd upgrade_readiness (cdアップグレード準備)

tail -f main_upgrade_script.log (メインアップグレードスクリプトのログ)

コマンド出力の例を次に示します。



注:FTDのステータスを確認する際は、/ngfw/var/log/sfディレクトリを使用します。出力ファイルに「Success」のステータスが表示されます。

```
root@fmc:/# cd /var/log/sf
root@fmc:/var/log/sf# cd Cisco_Secure_FW_Mgmt_Center_Upgrade-7.2.5/
root@fmc:/var/log/sf/Cisco_Secure_FW_Mgmt_Center_Upgrade-7.2.5#
root@fmc:/var/log/sf/Cisco_Secure_FW_Mgmt_Center_Upgrade-7.2.5# cd upgrade_readiness/
root@fmc:/var/log/sf/Cisco_Secure_FW_Mgmt_Center_Upgrade-7.2.5/upgrade_readiness#
root@fmc:/var/log/sf/Cisco_Secure_FW_Mgmt_Center_Upgrade-7.2.5/upgrade_readiness# tail -f main_upgrade_script.log
[231002 08:06:49:445] SKIP 200_pre/610_lamplighter_010_artifacts_export.sh
[231002 08:06:49:519] MAIN_UPGRADE_SCRIPT_END
[231002 08:06:49:535] Readiness check completed...
[231002 08:06:49:542] Attempting to remove upgrade lock
[231002 08:06:49:543] Success, removed upgrade lock
[231002 08:06:49:545]
[231002 08:06:49:546] #####
[231002 08:06:49:547] # UPGRADE READINESS CHECK COMPLETE status : PASS #
[231002 08:06:49:548] #####
```

準備状況の確認の状態

2. アップグレード・ステータスの監視

FMCからFMCへのアップグレードが開始された場合、または管理対象デバイスのアップグレードが開始された場合は、FMC GUIを使用する以外のCLIを介してアップグレードのステータスを検証できます。また、アップグレードが失敗した場合は、エキスパートモードでCLIを使用して、失敗の理由を理解するための関連ログを取得できます。

エキスパートモードに移行し、rootアカウントにエスカレーションした後、次のコマンドを使用できます。

```
expert sudo su - (enter password)
```

```
CD /var/log/sf
```

```
cd <upgrade_file_name> (登録ユーザ専用)
```

```
tail -f main_upgrade_script.log (メインアップグレードスクリプトのログ)
```

```
tail -f status.log (ステータスログ)
```

コマンド出力の例を次に示します。

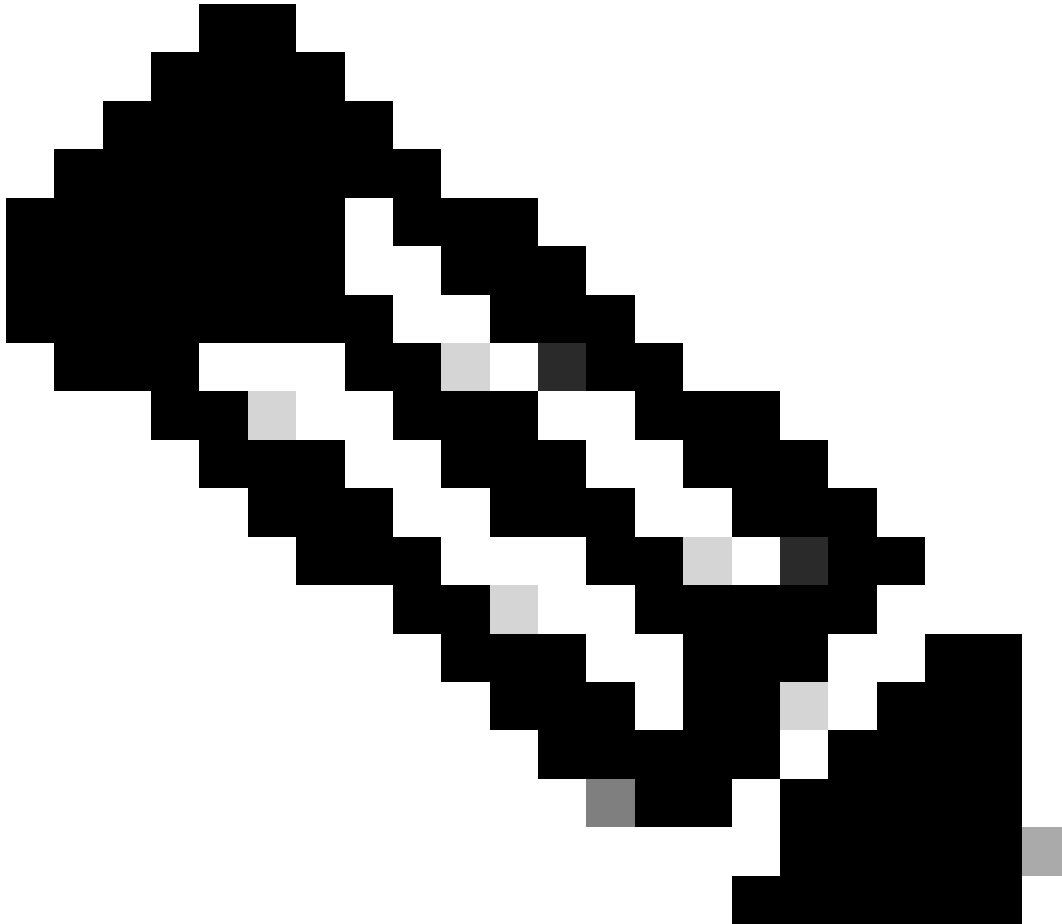
注:FTDのステータスを確認する際は、/ngfw/var/log/sfディレクトリを使用します。出力ファイルに「Completed」のステータスが表示されます。

```
root@fmc:/var/log/sf/Cisco_Secure_FW_Mgmt_Center_Upgrade-7.2.5# tail -f status.log
ui:[99%] [1 mins to go for reboot] Running script 999_finish/999_y02_python2_ptn_clean.sh...
TIMESTAMP:Mon Oct 2 08:55:15 UTC 2023 upgrade exceeded estimated time by 11 minutes
ui:[99%] [1 mins to go for reboot] Running script 999_finish/999_z_must_remain_last_finalize_boot.sh...
ui:[100%] [1 mins to go for reboot] Running script 999_finish/999_zzz_complete_upgrade_message.sh...
ui:[100%] [1 mins to go for reboot] Upgrade complete
ui:[100%] [1 mins to go for reboot] The system will now reboot.
ui:System will now reboot.
ui:[100%] [1 mins to go for reboot] Installation completed successfully.
ui:Upgrade has completed.
state:finished
```

アップグレードステータス

3. 障害時のレディネスチェックの再開

これは、FMC/FTDのアップグレードを再開するために使用するコマンドです。



注：アップデートが失敗した場合、その原因が特定されている場合にのみ再開します。そうでない場合は、同じエラーが再度発生する可能性があります。

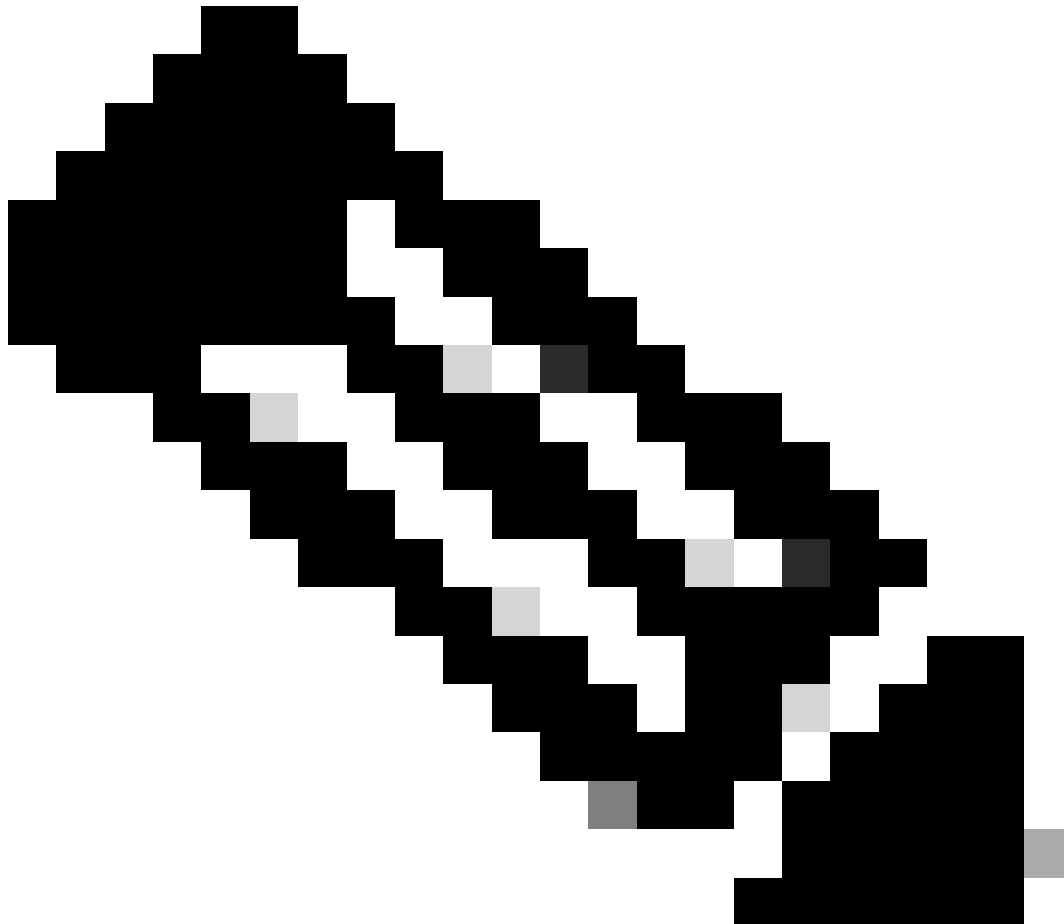
`install_update.pl --detach --readiness-check /var/sf/update/<upgrade_file_name>`を実行します。

コマンド出力の例を次に示します。

`install_update.pl --detach --readiness-check /var/sf/update/ Cisco_FTD_Upgrade-7.0.4-55.sh.REL.tar`を実行します。

4. 障害時のアップグレードの再開

これは、FMC/FTDのアップグレードを再開するために使用するコマンドです。



注：準備状況のチェックに失敗した場合、その原因が特定されている場合にのみ再開します。そうでない場合は、同じエラーが再度発生する可能性があります。

```
install_update.pl --detach --resume /var/sf/updates/<upgrade_file_name>
```

コマンド出力の例を次に示します。

```
install_update.pl --detach --resume /var/sf/updates/Cisco_FTD_Upgrade-7.0.4-55.sh.REL.tarを実行します。
```

これらの方法を組み合わせることで、レディネスチェックとアップグレードを監視またはトラブルシューティングする方法を包括的に理解できます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。